



### 編集委員会

山本正嘉（編集委員長）<sup>1) 2)</sup> 藤田英二<sup>2)</sup> 高井洋平<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター長 <sup>2)</sup>鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

## スポーツトレーニング教育研究センター沿革

平成5年（1993） 7月1日	文部省から平成5年度大学改革等調査経費として「少年期からの発達段階に応じた科学的なトレーニングと効果的な指導体制の在り方に関する調査」が示達される	平成13年（2001） 4月1日	第4代センター長に西園秀嗣教授が就任。研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・谷山中学校・花岡中学校・鶴羽小学校を指定
平成6年（1994） 4月1日	スポーツトレーニング教育研究センターの設置準備特別委員会が発足	平成16年（2004） 4月1日	加賀谷善教講師が着任。研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・花岡中学校・鹿屋東中学校・鶴羽小学校を指定
5月20日	スポーツトレーニング教育研究センターが設置される。センター長事務取扱に河野眞副学長が就任	平成18年（2006） 8月1日	第5代センター長に山本正嘉教授が就任
10月1日	西園秀嗣助教授が体力科学講座から学内移動	平成19年（2007） 4月1日	研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・大隅中学校・花岡中学校・鶴羽小学校を指定
平成7年（1995） 3月1日	金高宏文講師がコーチ学講座から学内移動	平成20年（2008） 4月1日	藤田英二講師が着任
4月1日	初代センター長に會田勝教授が就任。特別研修員：西村信一教諭。研究協力校として鹿児島南高等学校・鹿屋高等学校・谷山中学校・第一鹿屋中学校・横川中学校を指定	平成22年（2010） 4月1日	高井洋平助教が着任。研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・帖佐中学校・大隅中学校・鶴羽小学校を指定
平成9年（1997） 3月28日	スポーツトレーニング教育研究センター棟が竣工	平成23年（2011） 4月1日	教員組織の改組により、これまでのセンター所属教員はスポーツ生命科学系に所属することとなり、その上で山本がセンター長、西園、藤田、高井がセンター兼務担当教員となる
4月1日	第2代センター長に平田文夫教授が就任。特別研修員：池畑辰也教諭。特別研修員：陳杰上海体育学院教授	平成25年（2013） 4月1日	研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・帖佐中学校・花岡学園（花岡中学校・花岡小学校）を指定
5月8日	スポーツトレーニング教育研究センター棟が竣工し記念式典を挙行	平成28年（2016） 4月1日	研究協力校として鹿児島南高校・南大隅高校・重富中学校・吾平中学校・花岡小学校を指定
平成10年（1998） 4月1日	第3代センター長に大平充宣教授が就任。山本正嘉助教授が着任。特別研修員：佃省三教諭。研究協力校として鹿児島南高校・樋脇高校・南大隅高校・谷山中学校・桜島中学校・横川中学校を指定	現在（平成28年度）の体制	山本教授（センター長）、藤田准教授、高井准教授がセンター兼務担当教員として業務を行う
平成11年（1999） 4月1日	特別研修員：西園和昭教諭		
5月18日	トレーニング環境シミュレータの竣工式		
平成12年（2000） 3月19、20日	第12回トレーニング科学研究会を開催		
4月1日	特別研修員：石田尾行徳教諭		

表紙写真：鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス棟で行われた児童生徒の体力測定。走行路には、50mにわたり圧力板が埋め込まれており、50m走中における1歩毎の床反力データが測定できます。

## 編集後記

現代では「トレーニング科学」という用語が何気なく使われていますが、歴史をさかのぼると、スポーツ界に科学が導入されたのは、今から半世紀以上前のことです。1964年に東京でオリンピックが開催されるにあたり、選手強化の一助とするためでした。

以来、スポーツ界に科学が果たした役割は大きいものがありますが、一方ではまだ足りない点もあります。科学は普遍性を追求するため、平均値や全体の傾向などの議論が主となります。このため、トレーニングの重要な原則であり、一人一人の選手が最も知りたい部分でもある個性の問題に対しては、十分に答えられていないのが現状です。

鹿屋体育大学ではこの点を踏まえて、スポーツ現場にとってより直接的に役立つような「実践研究」を推進しています。本センターでも毎年「アスリートドックプロジェクト」を遂行し、様々な種目のアスリートを対象として測定を実施し、そのフィードバックを行って現場へ役立てようと努めてきました。

2020年には東京都で再びオリンピックが開催されるとともに、鹿児島県では国民体育大会も開催されます。本センターではこれらのことも視野において、現場の一人一人の選手に役立つような知見を提供するとともに、その成果を論文化して情報発信もしていきたいと考えています。今後とも各方面からのご指導やご支援をよろしくお願いたします。

（山本正嘉 記）

平成29年3月31日 印刷

平成29年3月31日 発行

発行者 鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター

発行所 鹿屋体育大学

鹿児島市白水町1番地（〒891-2393）

Tel 0994-46-4922

印刷所 株式会社印刷

鹿児島市上荒田町55-1（〒890-0055）

Tel 099-251-2191